

FUNAYAMA Chuta

ふなやま ちゅう た

教授 船山 仲他 1950 生

I 学位 文学士 (大阪外国語大学)
文学修士 (京都大学大学院)

II 専門分野 言語学、通訳理論

III 略歴

1974 年 3 月 大阪外国語大学外国語学部ロシア語学科卒業
1974 年 4 月 京都大学大学院文学研究科言語学専攻修士課程入学
1976 年 3 月 同 上 修士課程修了
1976 年 4 月 同 上 博士課程進学
1979 年 3 月 同 上 博士課程単位取得退学
1979 年 4 月 京都大学文学部研修員 (～1986 年 9 月)
1986 年 10 月 京都工芸繊維大学繊維学部助教授就任
1991 年 4 月 大阪府立大学総合科学部助教授就任
1997 年 4 月 同 上 教授昇任
2003 年 4 月 神戸市外国語大学教授就任 現在に至る

IV 研究活動

言語理解のオンラインプロセスを言語学的に研究している。同時通訳が通訳者の原発話理解をオンラインで反映していることに注目し、言語理解において構築されると考えられる概念処理を同時通訳記録を分析することにより明示化しようとしている。このような概念処理には文法知識などの情報も関係し、発話理解を支える言語知識を具体的な談話文脈の中で考えることはその働きに新たな視点を持ち込むことになり、認知言語学的な文法記述の諸問題を見直すきっかけを提示する可能性がある。

1. 著書

(1999-2004 なし)

2. 論文 (1999-2004)

'Grammaticalized Perspectives in Discourse' (『英米言語文化研究』第 4 8 号所収) 単著 大阪府立大学英米言語文化研究会 2000

「同時通訳の認知的側面を構成する要素について」(『同時通訳における情報フローの認知言語学的検証』所収) 単著 科研費研究成果報告書 2000

'Cognitive Objects in Verbal Comprehension' (『大阪府立大学言語文化研究』第 1 巻所収) 単著 大阪府立大学総合言語文化研究会 2002

「同時通訳における訳出遅延のメカニズム」(『同時通訳における対訳遅延の認知言語学的研究』所収) 単著 科研費研究成果報告書、2002

'Cognitive Tags in Simultaneous Interpretation' (*Interpretation Studies*, No.2 所収) 単著 日本通訳学会 2002

'Conceptualization Processes in Simultaneous Interpretation' (*Interpretation Studies*, No.4 所収) 単著 日本通訳学会 2004

3. その他の研究活動

(1) 科学研究費補助金を得た研究

「同時通訳における情報フローの認知言語学的検証」(平成 10-11 年度、基盤研究(C)(2))

「同時通訳における対訳遅延の認知言語学的研究」(平成 12-13 年度、基盤研究(C)(2))

「同時通訳データに基づく言語理解過程のマイクロ分析」(平成 15-16 年度、基盤研究(C)(2))

(2) 口頭発表

「同時通訳における認知タグ」(日本通訳学会第 3 回年次大会、2002)

「同時通訳における語彙形式の役割」(日本通訳学会関西支部第 5 回例会、2004)

「同時通訳における想定構築」(日本言語学会第 1 2 8 回大会、2004)

(3) 学会ワークショップの企画

「研究資料としての同時通訳データ」(日本言語学会第 1 2 8 回大会、2004)

(4) その他

- 「推論モデルから見た通訳」（『通訳・翻訳ジャーナル』No.177、2001）
‘Conference Interpreting in Japan’（中国人民大学外国語学院招待講演、2003）
「通訳能力と語学力」（嵯峨野高等学校特別講義、2004）

V 教育活動

- 「英語 I 講読（時事英語）」（必修科目／専攻語学／学部・第 2 部英米学科）メディア英語を材料として現代社会を英語で考えた。
- 「英語学研究演習 b 同時通訳」（選択科目／専攻科目／語学文学関係科目 c／学部・第 2 部英米学科）日英語間の同時通訳演習を通して言語コミュニケーションの本質を体験する機会を提供した。
- 「英語学特殊講義 b（リレー講義）」（選択科目／専攻科目／語学文学関係科目 c／学部・第 2 部英米学科）コミュニケーションの理論についての講義を担当した。
- 「研究指導」（必修科目／学部英米学科）現代英語を使ったコミュニケーションを通訳、メディアリテラシー、談話分析などの観点から分析する方法を指導した。
- 「英語学演習」（大学院外国語学研究科／英語学専攻／修士課程／選択科目）関連性理論に関する文献を読んだ。
- 「通訳技能と英語教育」（大学院外国語学研究科／英語教育学専攻／修士課程／選択科目）英語教育において通訳教育が潜在的に果たし得る役割について、実践的演習を織り込みながら講義した。
- 「欧米言語演習（英語コミュニケーション論研究）」（大学院外国語学研究科／文化交流専攻／博士課程／選択科目）言語学的な同時通訳理論の文献を参照しながら、言語理解の過程を考察した。

VI 学会活動

- 日本言語学会、日本英語学会、日本時事英語学会（理事：1996-、会長：2000-）、言語処理学会、アメリカ言語学会、日本通訳学会（副会長：2000-）

VII その他の活動（特記事項なし）